

東新町・小茂根地域における交通環境の改善に向けた取組について

1 経緯及び現状

(1) 東新町・小茂根地域が検討対象地域となった経緯

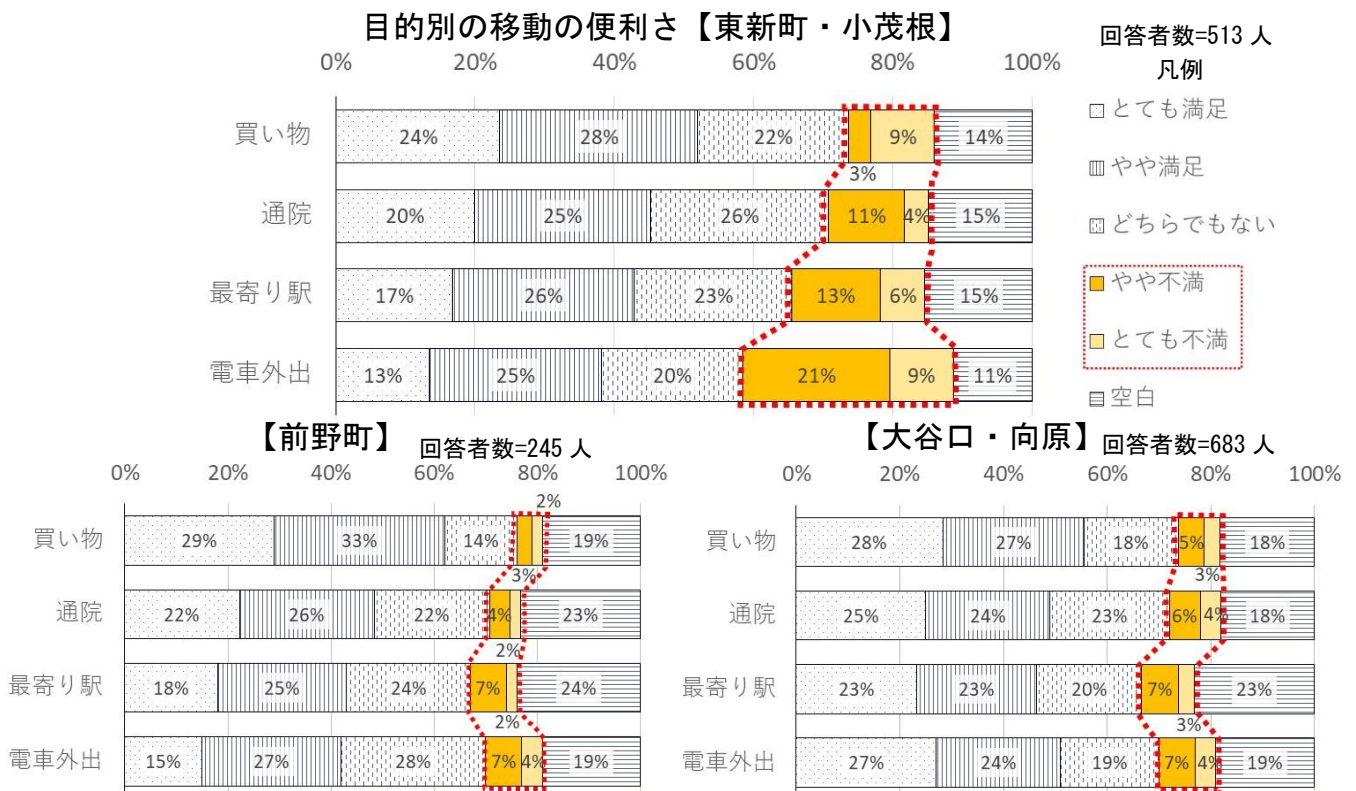
区内の公共交通網は、都心方面への鉄道4路線とこれらの駅の間を繋ぐ路線バスによりが形成され、概ね全域が駅から徒歩で移動できる環境である。

その上で、鉄道駅から500m、バス停から300m（毎時1本未満を除く。）以上離れる「公共交通サービス水準の相対的に低い地域」が複数存在しており、区では、交通環境の改善を図るための取組を行っている。

具体的な取組としては、コミュニティバス「りんりんGO」を運行しているほか、前野町五丁目及び向原三丁目においてタクシー乗場を設置する社会実験を実施し、現在も継続設置している。

令和5年度に、「公共交通サービス水準の相対的に低い地域」の中から、鉄道駅及びバス停から離れている3地域を選定した。

その中でも同年度に実施したアンケートで他地域と比べ、「移動の便利さ」に関する質問で「不満」の回答が多く見受けられた「東新町・小茂根地域」を新たな取組を行う検討対象地域として選定した。

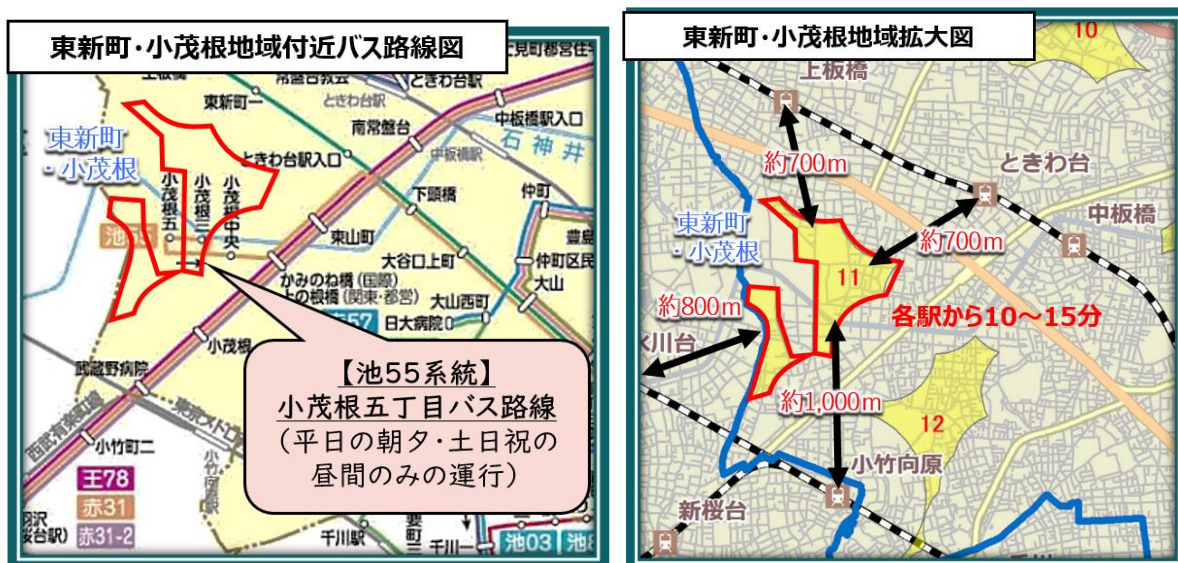


出典：令和5年度アンケート集計結果

(2) 東新町・小茂根地域の現状

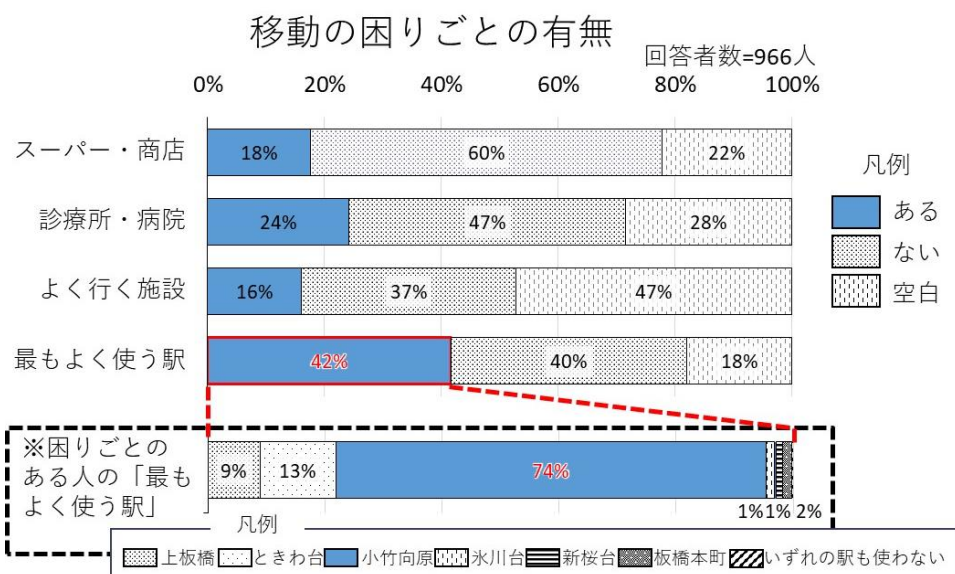
東新町・小茂根地域は、「公共交通サービス水準が相対的に低い地域」の一つであり、上板橋、ときわ台、小竹向原、氷川台のいずれの駅からも概ね1 km程度の距離に位置しており、川越街道と環状7号線に囲まれ、路線バスの運行があるが、どの路線も4つの駅に接続していない地域である。

また、この地域内の路線バス（池55系統）は、利用者減少と乗務員不足により、平日の昼間の運行が令和5年9月に廃止されており、現在は、平日の朝夕と土日祝日の昼間のみの運行である。



2 東新町・小茂根地域における地域住民アンケート結果

令和6年度に、東新町・小茂根地域を対象として、「お出かけに関するアンケート」を実施した。その結果、以下のとおり、最寄り駅への移動の困りごとが多く、このうち、小竹向原駅を利用する方からの回答が多かった。



出典：東新町・小茂根地域意見交換会配布資料

3 東新町・小茂根地域における交通意見交換会の開催

(1) 令和6年度開催概要

地域の方が主体となってつくりあげる地域の方のための交通対策を見出すことを目的に、東新町・小茂根地域交通意見交換会を以下のとおり開催した。

	開催日	参加者数	主な議題
第1回	6/28(金)夜	11名	・地域の交通環境の現状や動向 ・現状に対するご意見、将来的な移動に関する不安などの意見交換
	6/30(日)午後	14名	
第2回	9/30(月)夜	12名	・新たな交通手段のイメージ課題 ・アンケート結果の(速報)
第3回	12/16(月)夜	9名	・時系列別の新たな交通の可能性 ・池55系統の現状や路線維持について

(2) 意見交換会での今後の方向性

新たな交通の可能性については、小竹向原駅・ときわ台駅の移動への不満を解消することを目的とした短期的な取組、上板橋駅へのアクセス改善を目的とした中期的な取組、更に周辺地域の道路整備等が進んだ段階で交通環境が変化した際の長期的な取組の3つの時系列に分類し、検討していくこととなった。

4 今年度の取組とスケジュール

当該地域への交通環境の改善に向けた取組は、地域の需要を正確に把握し、担い手や費用の面から継続可能な交通対策を実施する必要がある。

令和7年度は、新たな検討組織を立ち上げ、以下の内容について、検討委員と共に、地域の方が主体となって取り組める交通対策を考えていく。

(1) 今年度の取組内容

① 短期的な取組の検討

アンケート結果で移動の不満が多かった小竹向原駅及びときわ台駅方面への移動手段について、短期的な取組を検討する。

② 地域の路線バス（池55系統）の路線の存続の検討

小茂根五丁目から池袋駅東口間を運行する池55系統について、減便が加速されないための利用方法について検討する。

(2) スケジュール（予定）

- ・令和7年5～6月頃 (仮称) 地域交通検討会（1回目）の開催
- ・令和7年10～12月頃 (仮称) 地域交通検討会（2回目）の開催
- ・令和8年2～3月頃 (仮称) 地域交通検討会（3回目）の開催